

MatriMix for PDX

MatriMixは、コラーゲンやラミニンE8、ヒアルロン酸から構成される新規三次元培養用基材です。新製品MatriMix for PDXは、マウス移植による癌患者由来腫瘍組織モデル作成用の1液タイプの製品です。

特長

- マウス移植によって癌患者細胞に由来する腫瘍が形成可能
- 試薬の構成成分が明確
- 簡便な操作性
- ロット間差が少ない

製造・発売元



PDXモデル作製例

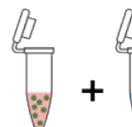
腫瘍組織のサンプリング



患者由来細胞の培養
(スフェロイド培養可)



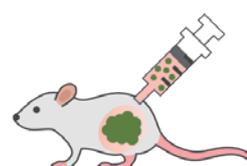
MatriMix for PDX
との細胞混合



シリンジへの充填



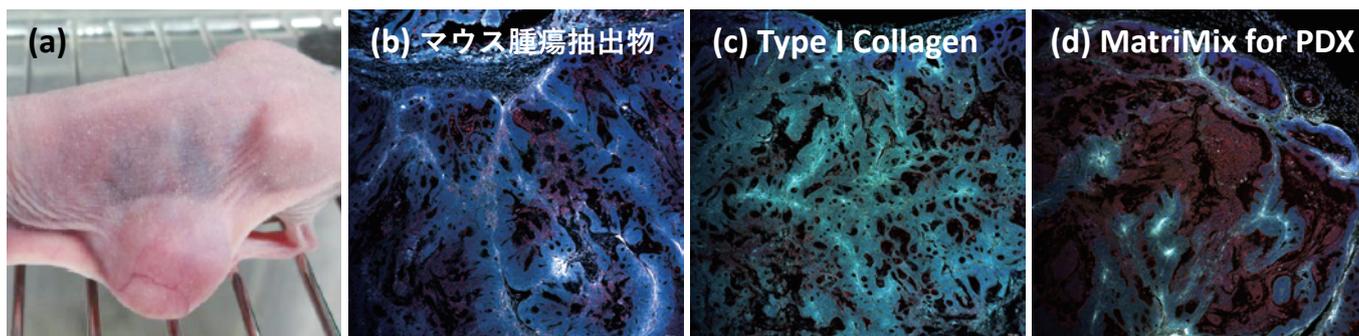
マウス移植&飼育



腫瘍形成 (2~4週間)

- ★用時調製不要
- ★細胞回収のための遠心不要
- ★任意の培地を混合可能

PDXモデルにおける腫瘍形成と免疫蛍光染色



(a) MatriMix for PDXで懸濁した大腸がん患者由来細胞のスフェロイドを免疫不全マウスに皮下移植して形成させた腫瘍(移植後4週間)

(b)-(d) 各基材を用いて形成させた腫瘍切片の免疫蛍光染色。MatriMix for PDXの場合、腫瘍組織に間質が含まれると共に、大腸がんマーカー-CEA (Carcinoembryonic Antigen)を発現する細胞が多数観察された。赤; CEA, 緑; Type I Collagen, 青; DAPI

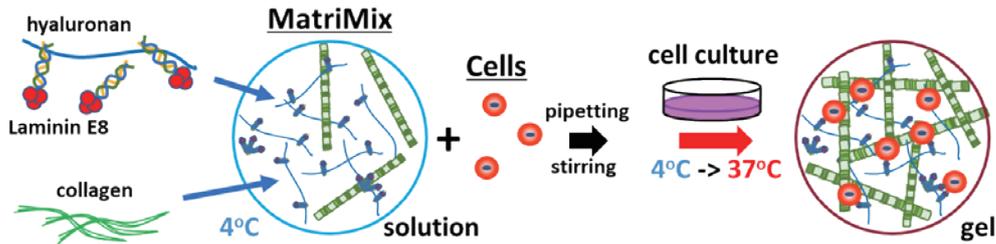
製品情報

製品名	包装	保管温度	メーカー型番	製品番号	参考価格(¥)
MatriMix for PDX	1 Set 1 mL×5本	冷凍	899031	49118-91	60,000

※本製品は試験研究試薬用です。※2 x 溶液のため、計10 mL分の移植用基材として使用可能です。

関連製品：MatriMix for (511)

MatriMixは、コラーゲンとラミニンE8、ヒアルロン酸から構成される新たな三次元培養用基材です。コラーゲンやラミニンE8の種類や組み合わせ、濃度を変えることで、様々な細胞に適した細胞周囲の微細環境を提供します。



キット内容

- ・チューブ3種類
- A液 3.6 mL×1本
- B液 1.0 mL×1本
- C液 3.0 mL×1本



使用方法

I. MatriMix溶液の調製

A液 (DMEM、ラミニン511E8断片/ヒアルロン酸架橋物)、B液 (炭酸水素ナトリウム)、C液 (コラーゲン混合物) を 5.4:0.6:4の量比となるように混合する。

II. 細胞培養

遠心回収した細胞とMatriMix溶液を懸濁し、37°Cに設定したCO2インキュベーター内で静置してゲル化させる。

※培養容器や用途に合わせて適宜プロトコールを調整してください。包埋培養、サンドイッチ培養、ゲル上培養法を行うことも可能です。

比較

	MatriMix	基底膜成分 (マウス腫瘍抽出物)	合成ポリマー ベース製品	ハンギング ドロッププレート
基材選択バリエーション (多種コラーゲン型、ラミニンアイソフォームの組み合わせ)	◎	×	×	×
生体内を模倣した組織化誘導	◎	○ (間質誘導に難)	×	×
ゲル強度のコントロールが可能	◎	×	×	×
細胞外マトリックスの模倣	○	○	×	×
構成材料の明確さ	○	×	○	○
成長因子 (不純物) 不含有	○	×	○	○
透明性	○	○	×	○
がん細胞オルガノイドでの間質誘導	○	×	×	×
各臓器オルガノイドでの細胞分化誘導	○	○	×	×

製品情報

製品名	包装	保管温度	メーカー型番	製品番号	参考価格(¥)
MatriMix (511)	1 Set	冷蔵	899001	49118-87	25,000

- 本記載の製品は、試薬 (試験、研究用として用いる化学薬品) としての用途にご利用ください。 ● 本記載価格に、消費税等は含まれておりません。
- 本記載の製品情報は予告なく変更する場合があります。最新情報は、弊社ホームページ「Cica-Web」をご確認ください。

 **関東化学株式会社**
試薬事業本部

〒103-0022 東京都中央区日本橋室町2丁目2番1号

TEL : 03-6214-1090

HP : <https://www.kanto.co.jp>

BBz-36 (202504)